

平成31年4月2日

平成31年度 北九州市立赤崎小学校 学校経営の基本方針

北九州市立赤崎小学校
校長 田村 嘉浩

一期一会

一生に一度だけの機会。生涯に一度限りであること。生涯に一回しかないと考えて、そのことに専念する意。もと茶道の心得を表した語で、どの茶会でも一生に一度のものとして心得て、主客ともに誠意を尽くすべきことをいう。

「一期」は仏教語で、人が生まれてから死ぬまでの間の意。

学校文化、校風

ある教育活動の時間が経過し、人事異動で職員が変わっても、延々と受け継がれて色あせることなく、学校の特色となって生きているもの。

学校の教育活動が歴史と伝統に支えられて、その学校ならではの文化、校風になっているもの、教育活動が花開いたもの。

その学校に入学したら、その学校のよい風を受けて子どもが自然とよりよく変容していく学校。その学校に転勤したら、その学校のよい風を受けてよりよく先生たちが変容していく学校。

理想を高くもち、学校のあるべき姿を追い求めている教師と子ども。教師と子どもが共に同じ方向に合わせて進んでいる学校をめざしたい。

時を守り 場を清め 礼を正す

「時を守り」とは、相手から信頼されること

「場を清め」とは、気付き心

「礼を正す」とは、敬意と感謝の念

1 北九州市教育の目標

「 思いやりの心をもつ、自立した子どもを育む 」

- 自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども
- 自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
- 思いやりの心もち、行動できる子ども

2 教育委員会 「指導の重点」

- ・ 北九州市教育大綱・北九州市子どもの未来をひらく教育プラン

SDGs の視点を生かしたシビックプライドの醸成

～ 誰一人取り残さない教育 ～

- ・ 一人一人に「生きる力」をはぐくむ学校教育の創造
 - 心の育ちの推進
 - 確かな学力の向上
 - 健やかな体の育成
- ～ 授業の改善・一時間一時間の授業の中に教育のすべてがある ～
- 「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」カリキュラム・マネジメントの実現

3 学校教育目標

豊かな心もち、自ら学び、健康でたくましく生きる児童の育成

4 目指す学校像

- ・ 子どもをど真ん中においた、楽しい学校
- ・ 子どもが力をつけ、自分の価値を感じる学校
- ・ 温かい人間関係と信頼で結ばれた学校
- ・ 地域に開かれた学校

5 目指す子ども像

あ あいさつをする子ども・・・気持ちのよいあいさつ，言葉づかい（相手や場）
か 考える子ども・・・進んで学習に取り組む，深く考え，目当てを持つ
さ さいごまでがんばる子ども・・・自分のことは自分で，根気強く仲間と最後まで
き きまりをまもる子ども・・・善悪の判断，すすんで守る

6 目指す教師像

- ・ 自分に、自分の仕事に誇りと自信をもった、自らの人間性を高める教師
- ・ 子どもの力を伸ばすために、子どもがより良く変容するために努力を惜しまない教師
- ・ 教職の専門性、とりわけ指導力の向上のために常に自己研鑽に努め、自分をより良く変容させる努力をする教師
- ・ 子どもに明るく接し、温かい指導をする教師
- ・ 組織の一員としての自覚をもち、協調性をもつ教師

7 スクールプランを生かした学校マネジメント

(1) 基本的学習習慣・生活習慣の定着

- ・学年や学級の課題を全職員で共有
- ・挨拶指導の徹底（明るく、気持ちの良い挨拶が、自らできるように）
- ・担任外教員の効果的な活用 専科指導・少人数指導・持合い授業等
（より多くの職員が児童と関わるができる体制づくり）
- ・生活指導（安全・清掃・言葉遣い・見守り隊との連携等）の徹底
- ・生徒指導の充実（確実な事実確認と早期即日対応で早期解決を）

(2) 確かな学力保証

- ・授業時数の確保と指導内容の確実な実施
- ・校時割変更を生かして
- ・専科・少人数指導の工夫（少人数・TT での指導～重要単元の精選）
- ・「朝の10分間読書」「視写」「読み聞かせ」「子どもひまわり学習塾」の充実
- ・学力体力向上関連事業の重点的活用・推進教員との連携

(3) 豊かな心と健やかな体をはぐくむ人権教育等の推進

- ・SDGs の視点を活かした、カリキュラム・マネジメントを主題研究の中核に据え、地域の特性を生かした、ユネスコスクールの取組を（環境教育・国際理解教育・福祉教育・キャリア教育等を通してシビックプライドを醸成する）
- ・向洋中校区事業の取組（北九州市型コミュニティースクールの実施を検討中）
- ・特別支援教育の充実（特別な教育的ニーズに応じた支援体制づくり）
- ・子どもと向き合い、関わりあう時間の確保
- ・道徳・外国語活動の授業時数の確保と内容の充実
- ・健康的な生活習慣の育成（朝食・歯磨き・運動等）

(4) 新学習指導要領への対応（変わる大学入試・高校入試）

～ 「読む」「書く」力の育成 ～

- ・特にこれからの時代に求められる資質・能力 「 三つの柱 」
 - 1 「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」
 - 2 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力）」
 - 3 「どのように社会・世界とかがわり、よりよい人生を送るか
（学びに向かう力、人間性など）」

(6) 本気の業務改善、働き方改革 家庭訪問の在り方の見直し 残業時間のさらなる短縮 等